

### 国際版画美術館

## フェリシアン・ロップス展

フェリシアン・ロップス(1833・1898)は、ベルギーの画家・版画家です。とりわけ官能的で悪魔的な主題に特異な才能を發揮しています。それらの作品群は、当初から常にスキャンダラスな話題の的となり

**悪魔的な欲望もまた、人間に生来そなわった根源的なものではないのか**

この展覧会は、版画、素描

油彩画など130余点による日本で初めての本格的な回顧展です。  
 期間 9月8日(日)まで  
 月曜日は休館します。  
 観覧時間 火・金曜日「午前10時〜午後5時」土・日曜日「午前10時〜午後5時30分(いずれも入場は30分前まで)」  
 観覧料 一般「600円」学生・高校生「400円」65歳以上「300円」小・中学生は無料です。  
 国際版画美術館 726・2771



「アプサンに溺れる女」1876年ごろ フェリシアン・ロップス美術館、ナミュール



「漂着物」1866年 フェリシアン・ロップス美術館、ナミュール



「扇子と操り人形を持った貴婦人」1873年 フェリシアン・ロップス美術館、ナミュール



「ヴィーナスとキューピッド(鼻をかんでもらっているアモル)」1878-81年ごろ フェリシアン・ロップス美術館、ナミュール(寄託)

### 国際版画美術館

#### 【夏休み子どもアニメ鑑賞会】

対象 幼児・小学生とその保護者

期日 8月22日(木)、23日(金)

時間 午後1時30分〜2時30分 午後3時〜4時(各回、同内容)

内容 「ミッキーマウスのバンドコンサート」、エリックカール作「はらへこあむし」ほか

内容 「ミッキーマウスのバンドコンサート」、エリックカール作「はらへこあむし」ほか  
 会場 同館・講堂  
 定員 200人(先着順)

刷りの作品の制作を指導。画面サイズ27×38・5cm。  
 期日 9月11日〜11月13日の水曜日(全10回)  
 時間 午後1時30分〜4時30分  
 会場 版画美術館・版画工房  
 講師 版画家・松島順子氏  
 定員 10人(市内在住及び同館の講座の受講経験がない方を優先のうえ抽選)

費用 1万2000円  
 申し込み 往復ハガキ(1人1枚)の往信面に講座名・氏名(ふりがな)・住所・電話番号・年齢(講座の内容、進行に必要。記入は任意)を明記し、8月21日まで(必着)に国際版画美術館普及係(〒194・0013、原町田4・28・1、☎726・2889)へ。

### 町田市立博物館展覧会

## 「挿絵画家伊藤彦造の画業」 「町田市在住60年」 「ルソンの籠と壺・飯島コレクション」



かつゆうしじこ しげん いん 褐釉四耳壺「至元」印



天草四郎時貞 昭和24年

夏の特別展として2つの企画展を同時開催します。第1展示室では、細密ペン画による少年向け時代小説の挿絵画家として知られる、玉川学園在住の挿絵画家伊藤彦造氏の画業をたどり、第2展示室では、飯島正一氏がフィリピンで収集した籠と古壺を展示します。古壺はいわゆるルソン壺、籠は花入れに使える作品が中心です。  
 期日 9月1日(日)まで

休館日 毎週月曜日  
 開館時間 午前9時〜午後4時30分  
 【講演会「大塚に見るフィリピン 世界史の中のフィリピン」】  
 日時 8月25日(日)午後2時〜3時30分  
 講師 上智大学アジア文化研究所教授・青柳洋治氏  
 町田市立博物館 ☎726・1531

### 自由民権資料館

## 第4回 戦争展

## 生・死・祈・祀

戦争とゆらぐ生命



武運長久願いの絵馬(東村山市諏訪神社)

に向きあおうとしたのか。生還・戦捷祈願、戦没者追悼・祭祀など、人びとのこころの領域に光をあてます。  
 期日 9月8日まで  
 月曜日は休館します。

開館時間 午前9時〜午後4時30分  
 【展示解説】  
 直接会場へおいで下さい。  
 日時 8月25日(日)午後2時から  
 【記念講演会「戦争のフォークロア・祈願と慰霊を中心に」】  
 日時 9月8日(日)午後2時〜4時  
 講師 石川県立歴史博物館学芸主査・本康宏氏  
 定員 40人(申し込み順)  
 申し込み 電話で自由民権資料館(☎734・4508)へ。  
 交通 小田急線町田駅北口P.O. Pビル先21番乗り場から本町田経

「綾部入口」下車  
 由野津田車庫行きまたは「鶴川駅」行きバスで「袋橋」下車  
 /小田急線鶴川駅0番乗り場から「野津田車庫」行きまたは本町田経由「町田駅」行きバスで

